

# 平成28年7月28日 東浦地区座布団会 開催報告

## 1 開催情報

日時：平成28年7月28日（木）  
18時30分～19時40分  
会場：東浦公民館  
主な対象：杉津、横浜、大比田、元比田  
参加者：32名



## 2 参加者からのご意見

ご意見	内容
オートキャンプ場の整備について	東浦地区の海岸にオートキャンプ場を整備し、サザエとり、地引網体験などの海ならではのレジャーを実施すれば敦賀の活性化になるのではないかと。
「敦賀まつり」の名称変更について	近年催し物のマンネリ化や来場者減を感じている。山車や神輿を前面に出し、「敦賀気比祇園祭り」に名称変更してはどうか。
敦賀城の復活について	大谷吉継の知名度が高くなってきたので、北陸新幹線敦賀駅周辺に3層の天守閣を持つ敦賀城を復元すると、敦賀観光の目玉となるのではないかと。
東浦小中学校の現状について	3年ほど前から複式学級の学校へ入学する場合、単式学級の学校を選択できるようになった。今後、子どもが地元に戻ってこなくなり、休校や廃校につながると危惧しているが、行政の考えを教えてください。
陸路の玄関口である道路の歓迎看板設置について	ほかの観光地は、市や町の境目に歓迎看板が設置され、訪れたときに観光に力を入れているな、と感じる。敦賀市もそういったところに力を入れてはどうか。
天然記念物等リストの観光客への配布について	市内にある天然記念物等のリストを作成し、敦賀駅などで観光客に配布するとよいのではないかと。
道の駅の整備について	敦賀市には道の駅がないので、将来的に東浦の国道8号バイパスにつくってはどうか。
区民送迎用の車、運転手の確保について	東浦は各区の距離が離れているため、行事の際、高齢者の送迎用の足の確保に苦慮している。公民館に送迎用の車と運転手を確保できないかと。
公民館の使用基準について	東浦公民館や体育館に地域の人が集まりやすくするために、従来の使い方にとらわれず、娯楽やスポーツ、研修など柔軟に使えるよう配慮してほしい。
国道8号の2車線化について	国道8号の本町通り2車線化計画はかなり先の話なのか。
道の駅の整備について	敦賀市に道の駅を整備しない理由はなにか。

防犯灯LED化の地元負担について	防犯灯の地区負担額について、今後負担割合が増えると区費の負担も大きくなり、防犯灯を減らそうという動きにつながると思う。ほかの経費を削減することで、負担額の増とならないようにしてほしい。
避難所について	東浦にある赤崎、阿曾の体育館と東浦小中学校の3つの災害避難箇所は、高齢者に配慮された避難所として整備されているか教えてほしい。

### 3 今回の座布団会を終えて市長から一言

今回の座布団会では、敦賀まつりや大谷吉継、海を活かした賑わい創出や東浦地区の現在抱えている課題などについて多くのご意見をいただきました。そのほかにも上記のとおり、今後の観光や地域の活性化につながる様々なご提案をいただき、有意義な意見交換をすることができたと感じております。いただいたご意見につきましては、今後庁内で協議等行う際の参考とさせていただきます。座布団会に参加いただきましてありがとうございました。